

東北 復興日記

まだまだ



▶▶ 217



小高を応援する会33B+1
廣畑裕子さん

東日本大震災から六年が過ぎました。第二次世界大戦終結から六年後の一九五一年はどんな感じだったでしょうか。戦争を知らない私ですが、何も無くなった終戦からの六年は、すごい時代だったのではないのでしょうか。戦後七十年たって現代が形作られているならば、被災から七十年かけて前より良い時代を、前より住みやすい街

には、借りる物件がないのです。私は一三年に「のらとも農園」を作り、仮設住宅に避難している農家の皆さんの指導を受けながら花の苗を育て、全国に出荷しまし

生活環境創りが課題

を、未来に向けて作っていきけるチャンスが与えられているんだ、と考えるようになりました。

私が住む福島県南相馬市小高おだかは、二〇一六年七月十二日に避難

した。一五年には住民が交流する場所「おだかぶらっとほーむ」を作りました。今年、自立を目指すコワーキングスペース「小高工房」を立ち上げることにしました。

現在「レディーフォー」というクラウドファンディングで「南相馬小高の、新しい街づくりの一步を歩み出したい。」と題し、百五十万円を集めています。その資金で、取り壊されることになっていた物件を改修し、新規事業や事業を再開したい人に貸し出していきたいと考えています。皆さんも一緒に、新しい小高の歩みを応援してください。ただできればうれしく思います。

